

株式会社 ヒロセ

2023 年度環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



® 環境省

エコアクション21

認証番号 0008663

作成日： 2024年7月1日

目次

▪ ごあいさつ	P3
▪ 環境経営方針	P3
・ 環境理念	
・ 環境保全への行動指針	
・ 行動指針	
▪ 組織の概要	P4, P5
▪ 認証・登録の対象組織・活動	P5
▪ 組織図	P5
▪ 許可の内容	P6
▪ 廃棄物処理フロー	P7
▪ 主な環境負荷の実績	P8
▪ 環境経営目標及びその実績	P8
▪ 環境経営計画及び取組結果と その評価、次年度の取組内容	P8, P9
▪ 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P10
▪ 代表者による全体の評価と見直し	P10
▪ 環境経営の紹介	P11, P12

□ごあいさつ

未来を生きる子供たちが美しい地球で暮らすためにヒロセは挑戦し続けます。

ヒロセは、環境保全に取り組む会社です。

私たちの事業の一つひとつが自然環境・生活環境の問題解決に取り組んでいます。

持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。

2053年、株式会社ヒロセは創業100周年を迎えます。

これまで長期に亘り事業を継続して来られたのは、地域の皆様のご理解と、当社に関わって下さった皆様のご協力のおかげです。

心より感謝を申し上げます。

日々変化する地球環境問題と向き合い、未来を生きる子供たちと美しい地球のため、当社に出来ることとして”SDGsの取り組み”、”エコアクション21認証の取得”を継続して行っています。

株式会社ヒロセは創業者 廣瀬三十二の”謙虚にして驕らず さらに努力を”の精神の元、これからも今までと変わらずお客様や社会から「さすがヒロセ」と言われる企業であり続けるために全力で邁進し続けて参ります。

株式会社 ヒロセ
代表取締役 廣瀬 晋也

環境経営方針

<環境理念>

株式会社ヒロセは、環境保全についてリサイクルに課せられた事業活動における最重要課題の一つとして認識し、その環境側面を考慮して以下の各環境保全活動を推進し、地球環境に優しく信頼される事業活動を推進します。

<環境保全への行動指針>

1. 当社の環境方針は社長が定める。
2. 環境管理責任者は環境方針を社内に掲示するとともに、従業員又は当社の為に働く全ての人に周知徹底する。
3. 環境管理者は外部利害関係者からの要請がある場合は環境方針を開示する。
4. 社長は環境方針を定期的に年1回（原則4月）及び、必要に応じて随時方針の見直しを行う。
5. 目的・目標の設定及びレビューの為に枠組みを与える。

<行動指針>

1. 当社に適用される環境法規制及び同意するその他の要求事項を厳守します。
2. 事業活動にあたっては、次の項目を重点的に実施します。
 - ①二酸化炭素排出量(電力・自動車燃料)、水使用量(水道水の削減)、当社の排出(一般・産廃)を削減するために省エネルギー、省資源、廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。
3. 行政機関や環境団体に協力し、率先して社外の環境保全活動に努めます。
 - ①「グリーン購入」環境に配慮した商品・サービスを積極的に購入します。
 - ②環境に配慮したサービスとして、環境問題への意識向上と働く意義を子供たちに伝えるため、地域の学校を対象に職場学習や施設見学会を実施します。
また、地域のクリーンな環境を守る為に、いち早く収集状況を把握して行政機関に情報開示し見える化に努めます。
 - ③化学物質の使用量を削減し、環境負荷低減に努めます。
4. SDGsの持続可能な社会の発展に貢献します。
 - ①社内勉強会・研修会を開催します。
 - ②ライフスタイルに合わせた福利厚生を整備します。
 - ③健康経営への取り組みをします。
 - ④持続可能な処理と環境改善プランを構築します。
 - ⑤施設見学会を実施します。
 - ⑥再生燃料の製造をします。
 - ⑦小学校・中学校・高校の職場体験を実施します。
 - ⑧エコアクション21認証の継続をします。
 - ⑨地域の防災協定を締結します。
 - ⑩BCP計画の策定・訓練の実施をします。
5. 環境目的・目標及び実施計画を設定し活動すると共に定期的な見直しによる継続的な改善を推進します。
6. この環境方針は組織で働く又は組織の為に働く全ての人に周知徹底すると共に、一般に公開します。

制定日： 2011年11月1日

改定日： 2022年7月1日

代表取締役社長 廣瀬晋也

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ヒロセ 代表取締役社長 廣瀬 晋也

(2) 所在地

本社 滋賀県蒲生郡日野町松尾960-1
 第一工場 滋賀県甲賀市水口町八田886-6
 第二工場 滋賀県蒲生郡日野町大谷416-8
 湖南支店 滋賀県湖南市水戸町1-7
 甲賀支店 滋賀県甲賀市水口町八田886-6
 内池倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字内池977
 上野田倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字上野田969
 ひばり野倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字上野田170

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部部长 上山 知己 TEL : 0748-52-0943(代)
 担当者 総務部 仲上 倫己 E-mail: tomoki_nakagami@hirosecltd.co.jp

(4) 事業内容

一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処理業処分量、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処理運搬業
 産業廃棄物処理業処分量、下水道管路維持管理業、建築物等貯水槽清掃業、浄化槽保守点検・清掃業
 一般計量証明(質・量)及び環境計量証明事業(濃度)、土木(管)工事業、冷媒フロン回収業、古物商・金属屑商

(5) 事業の規模

法人設立 平成5年6月1日 資本金 2,000 万円 売上高 12.37 億円 (令和5年度)

	本社	第一工場	第二工場	湖南支店	甲賀支店	資材倉庫(3)	合計
従業員	64 名	6 名	6 名	1 名	1 名	無人	78 名
延べ床面積	6,467 ㎡	11,813 ㎡	4123 ㎡	42 ㎡	20 ㎡	3,573 ㎡	26,038 ㎡

受託した一般廃棄物・産業廃棄物の処理量

収集運搬量	17,833 t		
中間処理量	1,739 t	うち再資源化量	1,404 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の処分量	450 t	うち再資源化量	146.973 t

車両台数

車種	台数	備考
2.2tパッカー車	2台	
2.35tパッカー車	1台	
2.4tパッカー車	4台	
2.45tパッカー車	1台	
2.5tパッカー車	1台	
2.65tパッカー車	4台	
2.7tパッカー車	1台	
2.95tパッカー車	2台	
3tパッカー車	2台	
3.2tパッカー車	1台	
6.4tパッカー車	1台	
2tトラック	3台	
3tトラック	3台	
10tトラック	1台	
3.0klバキューム車	1台	一般汲取り用
3.4klバキューム車	1台	浄化槽用
3.6klバキューム車	2台	一般汲取り・浄化槽用
3.7klバキューム車	6台	一般汲取り・浄化槽用
1.5klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
2.3klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
2.9klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
4.0klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
2.3klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
3.0klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
3.8klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
8.8klバキューム車	2台	ハイドロバキューム汚水
特殊車両	14台	コンテナ車、洗浄車、TVカメラ車、他
普通車両	10台	
軽車両	12台	
合計	82台	

主要設備

名称	台数	備考
二軸破碎機	1 基	第一工場 能力：0.617t/h
ペットボトル減容機	2 基	第一工場 能力：0.2t/h、0.57t/h
空缶プレス機	1 基	第一工場 能力：0.2t/h
発泡スチロール減容機	1 基	第一工場 能力：0.05t/h
破集袋機	1 基	第二工場 能力：1.0t/h
一軸破碎機	2 基	第二工場 能力：0.8t/h、1.0t/h
二軸破碎機	1 基	第二工場 能力：1.0t/h
R P F 成形機	1 基	第二工場 能力：0.6t/h
圧縮梱包器	1 基	第二工場 能力：1.0t/h
オートアナライザー	1 基	試験分析所 分析機器
ガスクロマトグラフ質量分析装置	1 基	試験分析所 分析機器
I C P 質量分析装置	1 基	試験分析所 分析機器
イオンクロマトグラフ	1 基	試験分析所 分析機器
大気中二酸化硫黄計測装置	1 基	試験分析所 分析機器
大気中窒素酸化物計測装置	1 基	試験分析所 分析機器

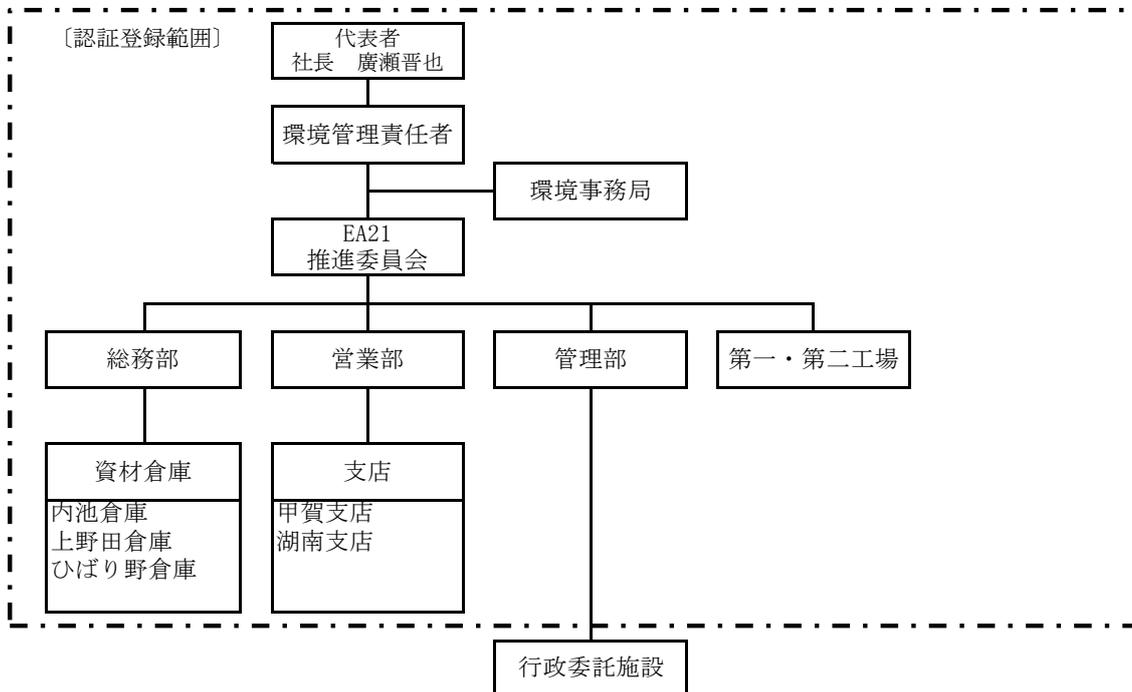
積み替え保管施設：なし

(6) 事業年度 毎年度 4月～3月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ヒロセ
 対象事業所：本社、第一工場リサイクルセンター・甲賀支店、第二工場トータルエコロジー、
 湖南支店、内池倉庫、上野田倉庫、ひばり野倉庫
 対象外：なし
 活動：一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、
 下水道・貯水槽・浄化槽関連事業、一般廃棄物中間処理業、産業廃棄物中間処理業

□ 組織図



□許可の内容

一般廃棄物処理業収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
日野町	日(生)第5-2号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	
甲賀市	甲賀市指令収第13号	令和5年7月1日	令和7年6月30日	
湖南市	第 2306251 号	令和5年7月1日	令和7年6月30日	
東近江市	東資再指令第137号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	
東近江市	東近江市環指令第355号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	
愛荘町	指令番号第010号	令和4年7月27日	令和8年7月26日	

一般廃棄物処理業処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
日野町	日交第032104号	令和6年4月11日	令和8年4月10日	
甲賀市	甲賀市指令処第6号	令和6年4月5日	令和8年4月4日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容 ※1 産業廃棄物優良認定

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類																
				汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	ばいじん	家畜ふん尿	低濃度PCB
滋賀県※1	第02500042387号	令和3年2月13日	令和10年2月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県※1	第01702042387号	令和2年5月18日	令和7年1月20日	○	○	○	○	○												
福井県※1	第01802042387号	平成30年2月6日	令和7年2月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府※1	第02700042387号	令和5年8月24日	令和12年8月23日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府※1	第02601042387号	令和4年7月19日	令和10年11月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県※1	第02400042387号	令和2年8月28日	令和9年8月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県※1	第02804042387号	令和2年10月8日	令和9年10月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県※1	第02300042387号	令和5年6月23日	令和12年5月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県※1	第03000042387号	令和2年5月7日	令和9年5月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県※1	第03300042387号	令和3年9月28日	令和10年8月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山県※1	第01609042387号	平成29年12月18日	令和6年12月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県※1	第02900042387号	令和6年4月27日	令和13年4月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県※1	第02100042387号	令和6年5月22日	令和13年5月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

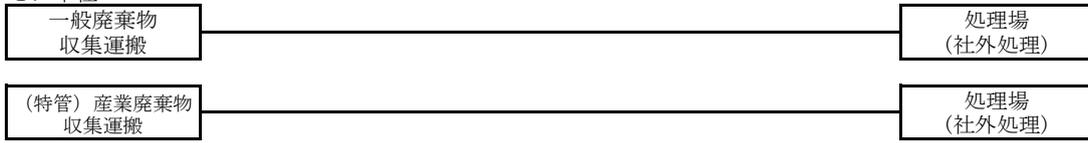
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類																
				汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	ばいじん	家畜ふん尿	低濃度PCB
滋賀県※1	第02550042387号	平成29年10月17日	令和6年10月2日	◎	◎	◎	◎										◎	◎		◎
石川県※1	第01755042387号	令和4年9月7日	令和11年9月6日	◎			◎													
大阪府※1	第02750042387号	令和5年8月23日	令和12年8月22日	◎	◎	◎	◎													
京都府※1	第02651042387号	令和5年5月29日	令和12年3月28日																	◎
鳥取県※1	第03154042387号	令和5年2月22日	令和12年2月21日																	◎
兵庫県※1	第02854042387号	令和5年6月20日	令和12年6月19日	◎	◎	◎	◎													◎
三重県	第02450042387号	令和3年7月5日	令和8年7月4日																	◎
愛媛県	第03857042387号	令和2年10月5日	令和7年10月4日																	◎
愛知県	第02350042387号	令和3年9月17日	令和8年9月16日																	◎
岐阜県	第02150042387号	令和3年11月24日	令和8年11月23日																	◎
岡山県※1	第03350042387号	令和3年9月28日	令和10年8月10日	◎	◎	◎	◎										◎	◎		◎

産業廃棄物処分業許可の内容

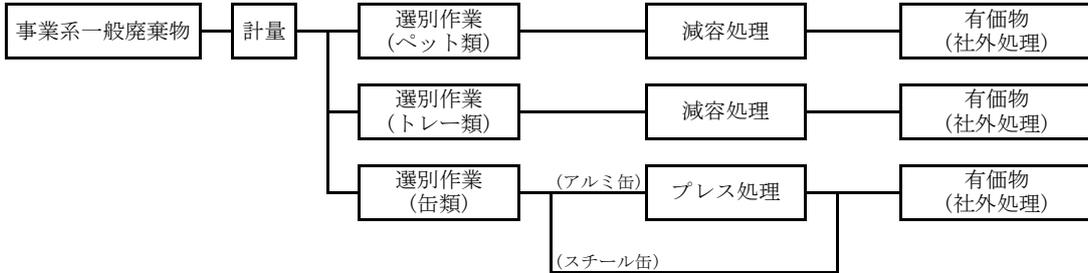
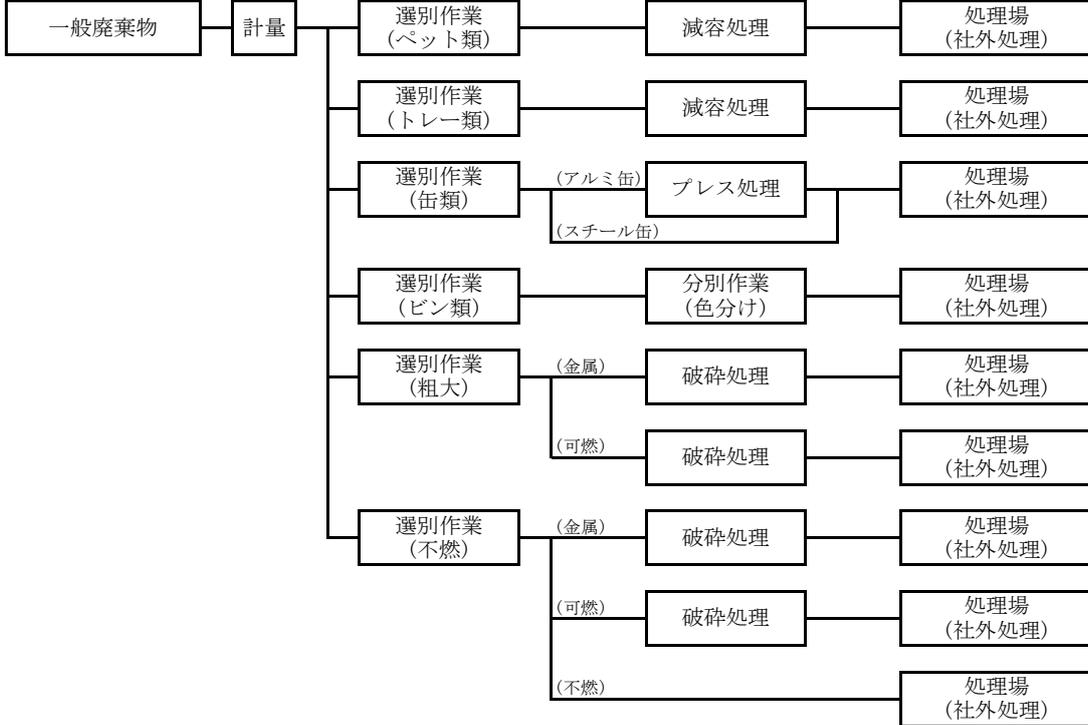
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業範囲 中間処理	廃棄物の種類																
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	低濃度PCB		
滋賀県	第02520042387号	令和6年4月10日	令和11年4月9日	破碎						○	○	○	○		○						
				圧縮						○	○	○	○								
				選別						○	○	○	○		○						

□ 廃棄物処理フロー

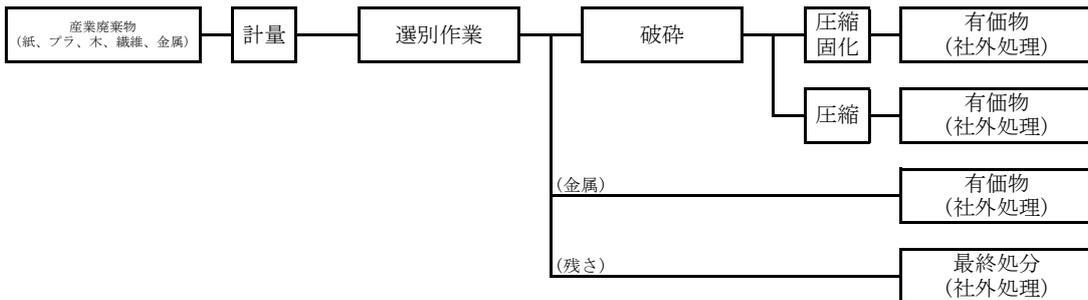
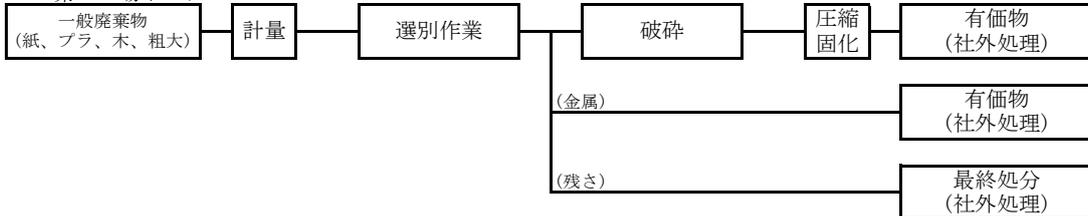
1. 本社



2. 第一工場リサイクルセンター



3. 第二工場トータルエコロジー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年 レポート対象年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	759,460	706,198	682,359
受託廃棄物量	t	2,970	1,371	2,455
廃棄物排出量(自社)	t	524	438	376
一般廃棄物排出量	t	11	8	10
産業廃棄物排出量	t	513	430	366
水使用量	m ³	2,164	2,133	2,067

※二酸化炭素排出係数 0.564 kg-CO₂/kWh (令和元年度 (株)サニックス 調整後排出係数)
 ※重機重油灯油を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		2024年	2025年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	259,558	249,176	167,352	246,580	243,984
	売上比	249.57	239.59	140.63	227.61	225.22
	基準年度比	2017年	96%	56%	95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	482,673	463,366	493,349	458,539	453,712
	売上比	464.11	445.54	414.58	440.90	436.26
	基準年度比	2017年	96%	89%	95%	94%
構内で使用する重機等の燃料使用量の削減	kg-CO ₂	28,388	27,536	19,856	27,252	26,968
	売上比	278.31	269.96	209.46	267.18	264.40
	基準年度比	2017年	97%	75%	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	770,618	740,078	680,557	732,371	724,665
一般廃棄物(自社排出)の削減	t	23	22	10	22	22
	基準年度比	2013年	96%	42%	96%	95%
産業廃棄物(自社排出)のリサイクル率の向上	t	—	—	366	—	—
	%	—	90%	87%	90%	90%
受託した一般廃棄物のリサイクル率向上	%	—	—	1,478	—	—
	基準年度比	—	90%	97%	90%	90%
受託した産業廃棄物のリサイクル率向上	%	—	—	925	—	—
	基準年度比	—	90%	99%	90%	90%
水道水の削減	m ³	2,794	2,682	2,067	2,654	2,626
	基準年度比	2013年	96%	74%	95%	94%
化学物質の管理	行動目標					
社会貢献への環境配慮	%	—	100%	100%	100%	100%
※実施件数	件	—	17件	17件	17件	17件
グリーン購入の推進	%	—	40%	49%	50%	60%
収集運搬における環境配慮	行動目標					

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	全社的に目標達成している。 継続して目標達成を目指す。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	◎	
・除湿モードは使わない(消費電力が大きくなる)		
・機械の空転時間の削減		
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	月次で未達が出たが、累計目標は達成している。 継続して目標達成を目指す。
・アイドリングストップを徹底する。	○	
・作業時、無駄なアクセルオーバーワークをしない。		
・低燃費車両への入替		
構内で使用する重機等の燃料使用量の削減		
数値目標	○	月次で目標未達はあったものの累計目標は達成した。 継続して目標達成を目指す。
・アイドリングストップを徹底する。	○	
・リフト、重機を離れる時は、エンジンをストップする。		
・定期的なオイル交換を実践する。		



□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容(続き)

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
一般廃棄物(自社排出)の削減		
数値目標	○	草刈りなどで未達となった月はあったが、累計目標は達成した。 引き続き削減に取り組む。
・リサイクルボックスでの分別を行う。	○	
・ボックスに種類を明示し、リサイクル推進を図る。	○	
・		
産業廃棄物(自社排出)のリサイクル率の向上		
数値目標	×	月単位では目標達成できた月もあるが、不適合物が多く、90%のリサイクル率は達成が難しい。目標の変更を含め、再検討したい。
・リサイクルに配慮した中間処理業者を選択する。	◎	
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	◎	
・		
受託した一般廃棄物のリサイクル率向上		
数値目標	○	目標は達成している。 継続して目標達成を目指す。
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	○	
・		
・		
受託した産業廃棄物のリサイクル率向上		
数値目標	○	目標は達成している。 来年も継続して目標達成を目指す。
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	○	
・		
・		
水道水の削減		
数値目標	○	目標は達成している。 継続して目標達成を目指す。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・社用車の洗車時の節水を励行する。	○	
・		
化学物質の管理		
数値目標	○	目標は達成している。 継続して目標達成を目指す。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
社会貢献への環境配慮		
数値目標	○	年間目標は達成している。 来年も継続して目標達成を目指す。
・地域のボランティア活動等に積極的に参加する。	○	
・環境に関する研究や活動を行っている団体等に対する支援、または協働を行う。	○	
・職場体験学習の受け入れを行う。	○	
・子ども110番車輛を通して防犯・地域支援協働を行う。	○	
グリーン購入の推進		
数値目標	○	昨年よりも未達月が減少したが、未達月の購入比率が極端に低いため、来年度も目標を40%で取り組み、目標達成を目指す。
・再生紙や未利用繊維製品への転換を図る。		
・再生材料から作られた製品を優先的に購入する。		
・		
収集運搬における環境配慮		
・積み込み時に騒音を立てない	○	目標は達成している。 継続して目標達成を目指す。
・積み忘れをしない	○	
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等の停車時はアイドリングストップ	○	
・車両火災対応訓練を実施する	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理及び委託契約
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者、アルコールチェック等
自動車NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
消防法	指定可燃物の扱い、防火管理（消防設備点検）
グリーン購入法	物品購入、提供を受ける場合は出来る限り環境物品等を選択するよう努め
水質汚濁防止法	保守点検、清掃及び定期検査
化学物質排出把握管理促進法	盗難/漏洩防止、容器・貯蔵場所の表示、事故・盗難時届出（警察）
水質汚濁防止法	特定施設の設置届（71の2に関わる洗浄施設）
フロン排出抑制法	フロン類の適切な回収、業務用エアコン、冷凍庫等の簡易点検
高圧ガス保安法	一般高圧ガス保安規則（ボンベ類の転倒防止）
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機の回収
小型家電リサイクル法	小型家電96品目の回収
自動車リサイクル法	自動車の登録抹消、廃自動車手続き

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

2023年度は、未達成が続いていた社会貢献への環境配慮が目標達成となった。今後も継続して目標達成し続けられるよう取り組んでいく。

産業廃棄物のリサイクル率目標について、現在利用している県内の埋立場が閉鎖となる事もあり、処分方法の変更も視野に取引先と調整を行っているが、処分先の変更及び処分方法の変更のいずれも処分費が高騰する事から調整が難航している。

かねてより導入を検討している、電気自動車・ハイブリッド車のパッカー車については、いまだ馬力不足により山道・坂道が多い弊社の業務に耐えられないという評価で導入に至っていない。営業車、役員車両については全台ハイブリッド車に入替を行った。

変更の必要性の有無・指示事項

- [環境方針] 変更の必要性 あり なし

- [目標・活動計] 変更の必要性 あり なし

- [実施体制・その他] 変更の必要性 あり なし

□環境経営の紹介

項目	活動内容
1.自動車燃料・電力の二酸化炭素低減	1)消費電力の低減 ①事務所内の不要な照明灯・OA機器類の消灯（昼食時間1時間・17時以後の徹底） ②デマンドの活用による、消費電力の見える化 ③エアコンの推奨設定温度の表示 ④グリーンカーテンにより室内温度の上昇を抑制、エアコンの消費電力を低減させる。
	2)消費燃料の低減 ①新規車両(低燃費車両)への入れ替え ②エコドライブの実施
2.廃棄物	1)廃棄場所の標識設置 ①廃棄場所に物品別に標識を付け分別・リサイクルする。
3.水使用量低減	1)節水の励行 ①水道メーターの設置による、節水意識の呼びかけ。
4.グリーン購入	1)事務用品・他 ①再生紙・グリーンマークの入った商品を優先的に購入する。購入品は、筆記用具・コピー紙類。 ②ハイブリッドカーの購入

1.電力による二酸化炭素排出量の削減

[節電の呼びかけ]



[本社LEDへ交換]

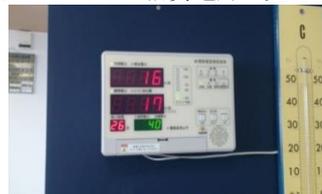


[エアコンの推奨設定温度の表示]



[リサイクルセンターLEDへ交換]

[デマンドによる消費電力の見える化]



[トータルエコロジーC棟LED設置]

2.自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

[新規車両への入れ替え]



[低燃費車両の運用]



3.一般廃棄物の削減

[廃棄物場所の表示]



[廃棄物場所の表示]



4. 節水

[節水の啓発]



[水道メーターの設置]



5. グリーン購入

[省エネパソコンの導入]



[ハイブリッドカーの購入]



6. 環境に配慮したサービス
[淡海エコフオスター活動の実施]



[こども110番活動]



[社会科見学]



7. 法令法規
[アルコールチェック]



8. 地域貢献
[町内公園へ大型遊具寄付]

